

公益事業の効果報告書

実施者 (団体名)	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 インフラストラクチャー研究所
実施事業名	外濠再生に資する調査研究
実施目的	<p>外濠は東京都心に残された貴重なオープンスペースであるが、合流式下水道の汚水流入などを要因として、水質汚濁が課題となっている。また、外濠通りの交通流が外濠と背後地とを分断しているため、外濠がオープンスペースとして活用されることもなかった。こうした現状のなか、2020年東京オリンピックではこの外濠通りが男女のマラソンコースに指定された。これにより、外濠周辺の状況が全世界に放映されることとなるが、東京が品格ある都市として世界から認められるためには、外濠を再生する必要がある。</p> <p>こうした状況を踏まえ、地域の機運醸成に向け、過年度の再生事業の空間検討に続き、今年度は海外事例等を参考に、外濠再生の事業化推進に資する「水辺の都市再生」の事業化手法の検討や「水辺の都市再生」の効果に関する情報発信及び各方面の関係者との合意形成を目的に調査研究活動を実施する。</p>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回外濠市民塾：DNPプラザ ・第3回外濠再生懇談会：法政大学 ・事例研究部会：建設コンサルタンツ協会本部
実施日 (期間)	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回外濠市民塾：平成29年4月22日 ・第3回外濠再生懇談会：平成30年3月22日 ・事例研究部会：計6回（平成29年6月30日、8月2日、9月11日、10月18日、11月14日、平成30年1月31日）
参加人員	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回外濠市民塾：60名程度 ・第3回外濠再生懇談会：60名程度 ・事例研究部会：各回9～14名
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関連シンポジウム等の連携・支援 外濠では、周辺大学が中心となり、地域住民とのシンポジウム等が開催されている。シンポジウムの開催は、地域住民の外濠再生に関する理解、合意形成を行う上で重要である。そのため、地域住民、学識の意見聴取を目的としてこれの連携・支援を行った。 2. 外濠再生・事業化手法の検討 外濠をはじめとした”水辺を活用した都市再生”の効果の再整理や一般市民への啓発を目的として、事業の背景、事業手法、周辺地との接続性、効果等の視点から国内外の特徴的な事例収集及び整理を行った。
事業の告知媒体 (告知方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学による町会、地域住民への直接訪問、パンフレット作成・配布 ・インターネットでの周知（市民塾）
実施効果	<p>建設コンサルタンツ協会では、外濠周辺を対象とする都市のリノベーション検討に取り組み、外濠のオープンスペースとしての機能確保や、外濠通りの地下化、外濠の水質改善などに向けた課題とりまとめと改善策の立案を行ってきた。外濠の再生に向けたこれらの一連の活動のうち、水辺を活用した都市再生事例の収集を行い、外濠再生懇談会において市民・企業・行政等の地域関係者に対し、外濠再生の参考となる海外水辺事例の紹介を行った。</p> <p>また、外濠周辺地域では、市民参加や大学が持ち回りで行うシンポジウム、その他ワークショップ・委員会等が複数開催されており、外濠の再生を行う上では、これらの連携が重要である。そのため、今年度は大学が主催する外濠再生懇談会、外濠市民塾（運営、記録作成等）の支援を行い、連携を図った。</p>

- 外濠市民塾の実施状況(平成29年4月22日実施)
- ・外堀関連活動の報告(外堀アフタースクール等)

: (写-1)



実施状況

- ・外堀周辺の町歩き



- ・各班によるワークショップ成果発表



●外濠再生懇談会の実施状況(平成30年3月22日実施) : (写-2)



実施状況

●事例研究部会の実施状況(平成29年6月30日～平成30年1月31日実施) :(写-3)



実施状況